

山名		山行名	新春愛宕山登山	
ルート	JR 保津峡駅→水尾の里→水尾分かれ→愛宕山神社→水尾の里→JR 保津峡駅			
山行日	令和5年1月3日	天候	曇り後晴れ	
参加者	CL：藤村 SL：中田 山下 木田 幾田 蒲田 林 伊藤多恵子 北條 伊藤典子 平尾 徳田 川田 小川 14名			
	コースタイム			
	地名	時：分	愛宕神社着	12:30
	保津峡駅発	9:05	愛宕神社発	13:40
	水尾の里着	10:05	水尾分かれ着	14:20
	水尾分かれ着	11:30	水尾分かれ発	14:30
	水尾分かれ発	11:40	保津峡駅着	16:30
<p>毎年恒例の新春登山に今年は14名の方に参加していただきました。昨年より4名増え皆で世間話をしながら、楽しくいつもと同じ道を辿り登山しました。今年はゆず風呂入浴と思い水尾の里に電話しましたが、どこも割と高い会席料理と風呂がセットになっており断念しました。それでは山行後に入浴はどうかと思い適当な場所を調べるとJR 嵯峨嵐山駅周辺に銭湯があり、これは楽しみと思い銭湯の場所をよく調べるといずれも駅から20分以上の遠距離にありこの案も断念する。結局、例年通り善哉を食べることだけになる。昨年は10cm程の積雪でしたがことしは少なく、感動するほどの雪景色を見ることはできなかった。雪はないが黒門付近から凍結しており、アイゼン装着での歩行となる。途中でアイゼンを装着しない人や、幼い子供を抱えて登る人等、雪の参道登りを安易に考えている若者を見ると、山登りをなめていると大変な目にあうよと注意したい気持ちになる。</p> <p>神社の大階段前の小屋は一杯で、昨年と同じ場所で昼食として、その後善哉を作る。ことしは2名の協力者により段取りよく準備していただき、材料を手際よく3個のコップェルにいれ、山下式バーナー使用法により例年になく早く作ることができた。毎年同じように、同じメンバーで作るので段々と要領を覚え、善哉作りの術も向上してきた。寒い所で体の芯まで温まる善哉は、何度食べても美味しく皆で楽しくいただきました。皆さん食べるのが早く、全員に紙コップ2回分が均等に行き渡るか心配するほどでした。</p> <p>もう何回も登っている愛宕山ではあるが、新春登山は格別で触れ合う登山者達が、おめでとうございます等と話あっているのを聞くと新たな気持ちになります。今年初めて参加された方も、何時もと違う雰囲気きつと心打たれたと思います。杉林の隙間から光に照らされた市内の暖かそうな町並みを、薄雪化粧の頂上からほんの少し見るのも趣がありました。</p> <p>材料手配の段取りをしていただいたIさん、Hさんありがとうございました。予定より少し遅れるが全員無事に保津峡駅に到着できて安堵しました。参加者の皆さんありがとうございました。</p> <p>全員で一年間の安全登山を祈願しましたので、ことしも当会の山行は安全であること間違いなしと思います。</p>				
ヒヤリハット なし				

